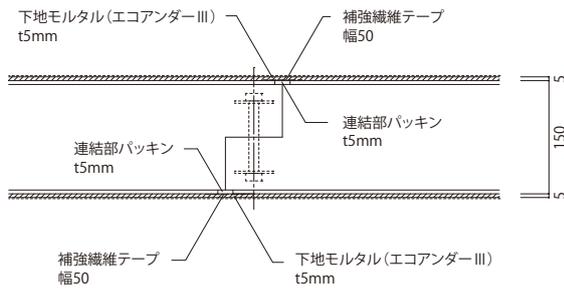


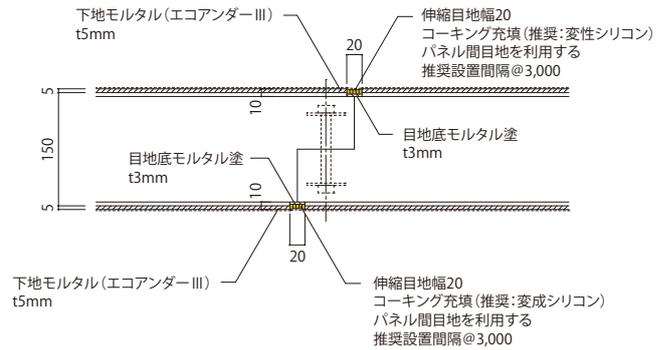
伸縮目地の施工手順

長さが 5.0m を超える連続塀で、塗装仕上げをする場合

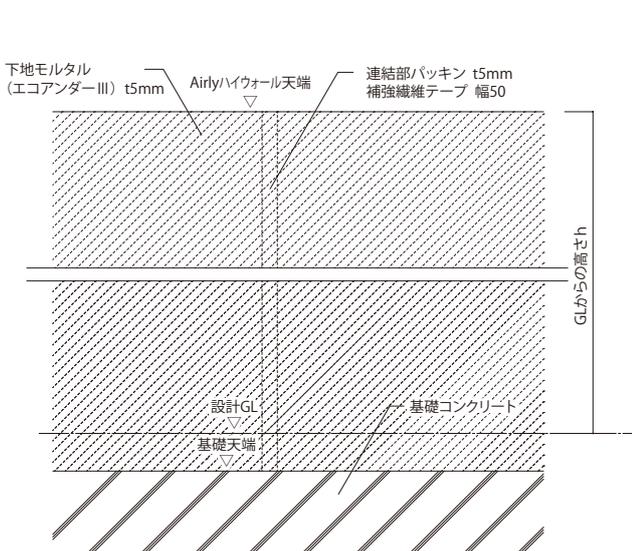
詳細図



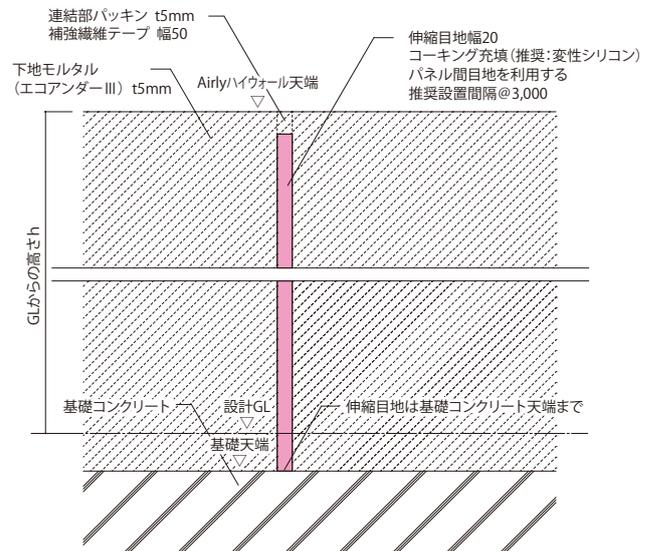
一般部パネル連結部分詳細図



伸縮縦目地部分詳細図



一般部パネル連結部分展開図



伸縮縦目地部分展開図

長さが5.0mを超える連続塀で、塗装仕上げをする場合は、必ず上図右側に示す伸縮目地を@3,000で縦方向に設けてください。

伸縮目地を設ける目的

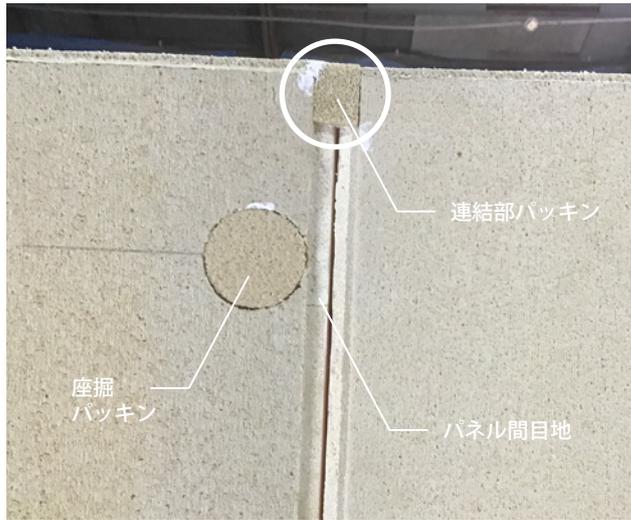
モルタルは硬化する過程で収縮し、まれにクラックが発生することがあります。

一定割合で伸縮目地を設けて下地モルタルの収縮範囲を小さくすることで、クラック発生の可能性を低くします。

施工手順

01

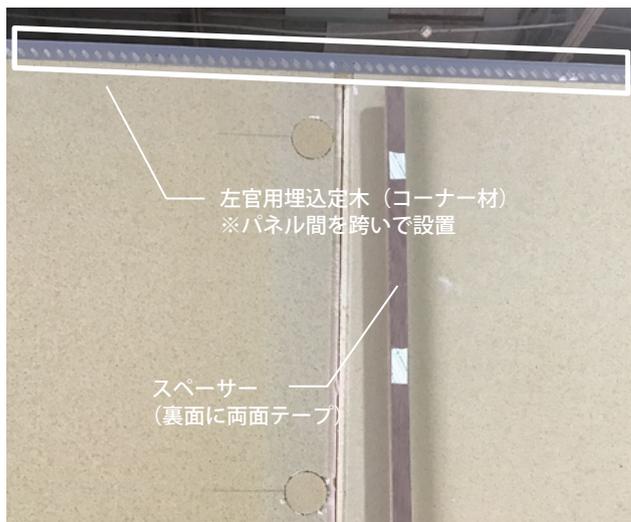
パネル間パッキン貼付



連結部パッキンを 50mm 程度にカットして
パネル間目地上部に接着する。

02

コーナー材・スペーサー準備



パネル上部と端部に左官用埋込定木 (コーナー材)
を設置する。

(写真はパネル上部)

※コーナー材は必ずパネル間を跨いで設置すること

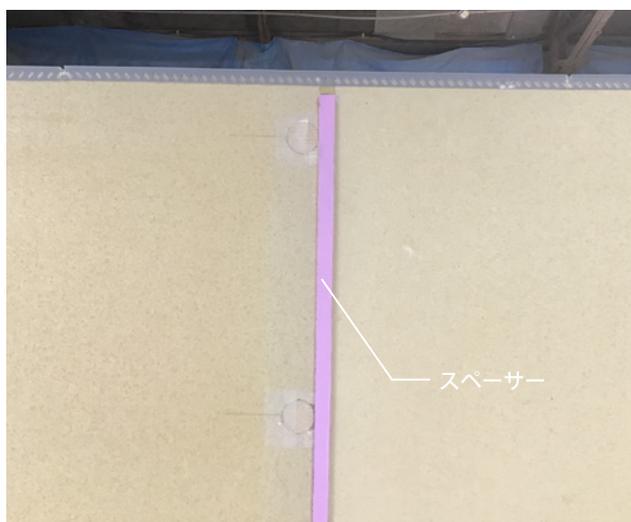
伸縮目地用にスペーサーを用意する。

(幅：20mm 厚み：約 10mm)

スペーサー裏面に仮固定用の両面テープを付ける。

03

スペーサー仮止め ①



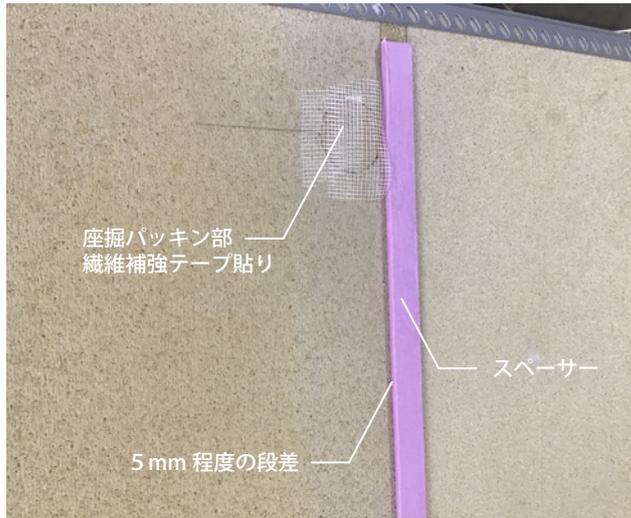
パネル間目地部にスペーサーを両面テープなどで
仮固定する。

(分かりやすくするため、スペーサーを着色しています)

施工手順

04

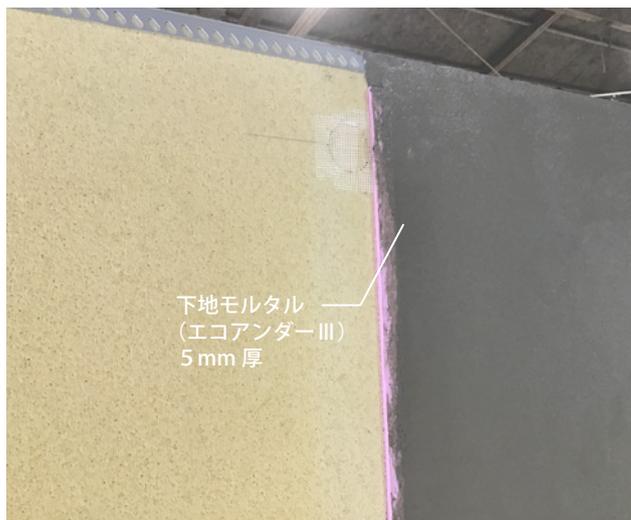
スペーサー仮止め



パネル間目地が深さ 5.0mm のため、スペーサーが 5.0mm 程度突出している。
※下地モルタル（エコアンダーⅢ）の定木として活用

05

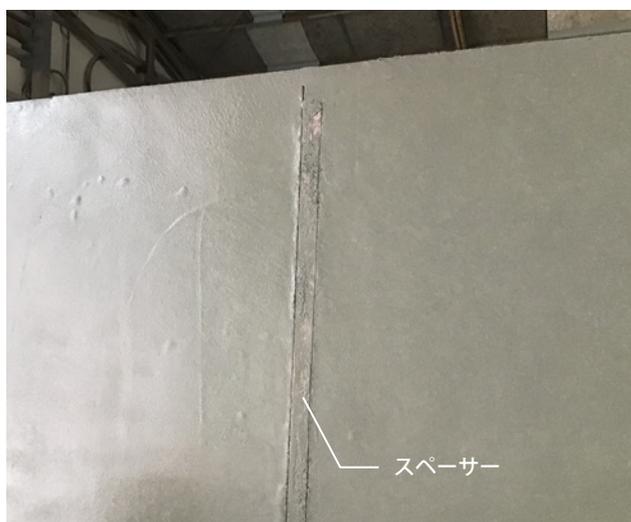
下地モルタル



下地モルタル（エコアンダーⅢ）を施工する。
モルタルは、パネル表面に強く擦り付けるようにして、厚さ 5.0mm 程度を目安に施工する。
※写真のコーナー材は、塗厚 5.0mm 用を使用

06

スペーサー取り外し

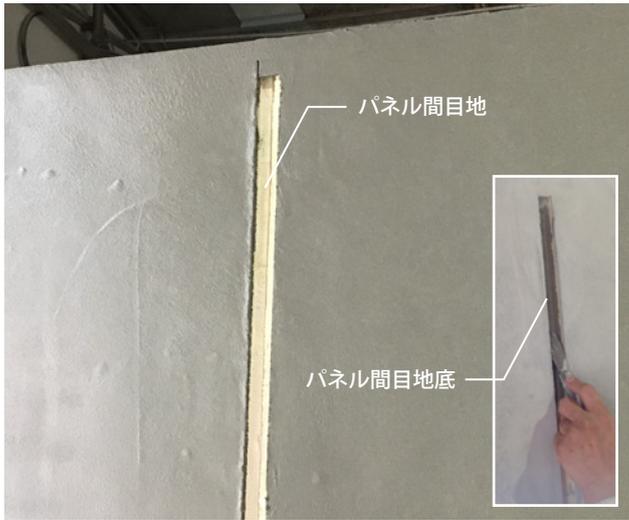


パネル全体（根巻きコンクリート天端まで）に、モルタル施工する。
※スペーサーは下地モルタルが完全に硬化する前に外すこと。

施工手順

07

目地底
モルタル



スペーサーを外した箇所（パネル間目地底部）にモルタルを 3.0mm 程度施工する。

08

目地底
モルタル



Airly ハイウォール全体をモルタルで覆うことで下地モルタル施工完了。

09

コーキング
充填



パネル間目地底部のモルタルが硬化したことを確認した後、その目地部にコーキング材を充填して施工完了。

※コーキング材は変性シリコンを使用する

養生期間を十分に取り、下地モルタルに先行クラックを誘発させてください。

先行クラック補修後にとろう工事を実施すると、仕上げ後のクラック発生リスクを小さくすることができます。